

研修No. 5 6

2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 31日
研究・研修課題名	骨髄検査技師資格更新試験の受験並びに資格更新
研究・研修組織名(所属)	検査部
研究・研修責任者名(所属)	兒玉 るみ(検査部)
研究・研修実施者名(所属)	兒玉 るみ(検査部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	兒玉 るみ(検査部)
学会名(会期・場所)、認定名等	第 23 回日本検査血液学会学術集会(ハイブリッド) 骨髄検査技師
演題名・認証交付元等	日本検査血液学会
取得日・認定期間等	2023. 1. 1~2027. 12. 31
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

骨髄検査技師資格は、血液検査分野における高度の学識と技術を有する臨床検査技師の育成を図り、より良質な医療を国民に提供することを目的とした制度である。

更新試験は骨髄検査技師の知識と技術の維持、および継続性の担保、そしてさらなる向上を図るために試験を受験する。

②方法

1. 第23回日本検査血液学会学術集会に参加して最新の知見を得るとともに骨髄検査技師更新のための単位を取得する

2. E-learning 受講終了後更新試を受験し合格後終了証書を9月2日までに提出

更新試験受験

■WEB形式

日時：2022年8月1日(月)10時から8月10日(水)17時までの10日間

E-learning 受講

日時：2022年8月1日(月)10時から8月10日(水)17時までの10日間

3. 骨髄検査技師認定試験受験必要書類を9月2日までに提出

審査の結果必要な条件が満たされていれば骨髄検査技師の更新が認定される。更新条件としては、5年間継続して日本検査血液学会の会員であること、血液検査学に関する学術論文・学会発表等の業績、学会・研修会への参加、さらに講演会・研修会での活動、技師教育への関与等により、骨髄検査技師更新の資格審査基準単位60単位以上を取得していること、5年間に日本検査血液学会学術集会に2回以上参加していること、骨髄症例5症例の報告書を作成することが必要である。

③成果

1. 第23回日本検査血液学会学術集会に参加して最新の知見を得るとともに骨髄検査技師更新の

(様式1)

ための単位を取得した。学会は「原点を見つめ直そう！日本検査血液学会」をテーマに掲げ、種々の血液検査や血液細胞の形態学について様々な講演やセミナー、発表など多彩なプログラムが準備されていた。特別講演『タスク・シフト／シェアの今後の展開と課題』、教育講演『造血器腫瘍に対する最新の治療』、『出血性疾患の新しい治療』等最新の話題盛り沢山であった。ワークショップでは、『血液検査室から臨床への情報提供』が興味深く、日常業務に生かせる内容であった。

2. E-learning 受講にて4科目を受講した後更新試験をWEB形式で受験し100点満点で合格であった。骨髓検査技師としての備えるべき知識を改めて確認できた。
3. 日本検査血液学会に認定更新申請書類を提出し、申請手続きを行った。提出症例で一部不備があり、修正後再提出し資格更新が認定された。尚、認定骨髓検査技師の資格更新に伴い、自動的に認定血液検査技師の資格も更新された。

骨髓検査は各種造血器疾患の診断には不可欠な検査である。しかし、その判読には血液形態検査における専門知識および高度な判定能力を必要とする。今回骨髓検査技師の更新試験を受験し、血液形態検査水準や診断精度の向上に繋がったと考える。また、骨髓検査技師として学生や研修医への教育、後進の指導に今まで以上に力を入れて、今後業務に携わっていきたい。